

令和8年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名：防災危機管理課

シート No.：60

作成日：2026. 8/17

（１）総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅳ生活環境の充実	事務事業の背景・目的 平成 27 年 9 月の関東・東北豪雨における教訓から、次いつ起こるかもわからない災害への備えとして、災害の予防対策や災害時の対策を行い、地域防災基盤を充実させることが求められています。 そのため、通信機器の防災行政無線の点検、防災関連のシステムを充実させる取組や、備蓄品の充足率を向上させることで地域防災力の向上を図っていきます。	事務事業の目標 ・災害に強いまちづくりに向けて、平常時から市民へ情報提供を迅速確実に行えるよう防災行政無線や防災ラジオの整備を実施します。 ・地域の特徴に合わせ、降水量や風速等を把握するシステムを設置し、災害に備えます。 ・地域における防災体制を強化するため、必要な資機材の購入や防災備蓄品の充実を図ります。
	施策の目標	1 安全な暮らしを確保する		
	施策	1 防災		
	施策内容	地域防災基盤の充実		
	その他、拠法令及び分野別計画等	常総市地域防災計画		
事務事業名		防災対策事業		

（２）アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

（３）インプット（投入）

No.	アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 8 予算額	R 8 決算額
	活動名・事業名 （対象年）	R 8 活動・事業内容	指標名（単位）	R 8 目標値	R 9 目標値		
				R 8 実績値	R 10 目標値		
①	防災行政無線管理運用 （R8・9・10）	災害時の情報発信に備え、防災行政無線の適正管理を行い、難聴地域対策を継続します。	—	— —	— —	9,413 千円	千円
②	防災ラジオ運用 （R8・9・10）	屋外のみでなく、屋内でも災害時情報等を取得できるように防災ラジオの普及・啓発に努めます。	防災ラジオ配布済台数（台）	4,350	4,400 4,500	9,028 千円	千円
③	気象状況観測整備 （R8・9・10）	市独自で小型の気象観測計を設置し、出水期における災害対応において正確かつ迅速な情報の活用に努めます。	小型観測計設置台数（台）	3	3 3	1,109 千円	千円
④	防災井戸整備 （R8・9・10）	事業所や各家庭で所有する井戸を災害時に生活用水として提供できるよう制度を構築します。	災害時協力井戸設置数（基）	30	40 50	299 千円	千円
⑤	備蓄品購入 （R8・9・10）	災害発生時に避難者へ配布するため、食料等の備蓄品を購入します。	アルファ米購入数（食）	7,500	15,000 22,500	2,000 千円	千円
⑥	感震ブレーカー設置補助 （R8・9・10）	地震時における火災被害防止を目指し、市民へ感震ブレーカー設置について補助金を交付します。	感震ブレーカー設置補助件数	60	120 120	60 千円	千円
⑦						千円	千円
⑧						千円	千円
⑨						千円	千円
⑩						千円	千円

（４）アウトカム（成果）

成果に関連する上記（２）の活動名・事業名（No.）	指標名（単位）	指標の設定理由と目標値の根拠 （目標値を達成することにより市として何が達成されるか）	R 7 現状値	R 8 目標値	R 8 実績値	目標年度 目標値
						令和 9 年度 0 回
① ②	防災情報伝達時のクレーム数（回）	災害に強い町づくりに向けて、本指標の削減により確実な情報伝達及び情報未達地域をなくすことに繋がると考えます。	20 回	10 回		令和 10 年度 50%
⑤	3 歳～74 歳の避難者主食（アルファ米）カバー率（％）	災害に強い町づくりに向けて、本指標の向上により、住民の安心感の向上及び住民や避難者の生命・健康の確保に繋がると考えます。	0%	15%		令和 10 年度 300 件
⑥	感震ブレーカー設置補助件数	災害に強い町づくりに向けて、本指標の向上により、地震時における火災防止及び市民の火災予防の意識向上に繋がると考えます。	—	60 軒		

（５）目的・成果の達成に向けた点検・改善

業務の振り返り	改善の余地	今後の方向性
	☐ コスト ☐ 活動 ☐ 成果 ☐ その他	